

令和8年度 京都府立洛北高等学校 学校経営計画（計画段階）

学校経営方針	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
<p>京一中から続く、自由とアカデミックな伝統を継承しつつ、質の高い学びに加えて、部活動・学校行事・探究活動や国際的活動等の主体的な活動を大切に、京都府の中核校として充実した教育活動を実践する。</p> <p>(1) 中学校と高等学校の教職員の相互理解を図り、中学校と高等学校が一体となった組織運営を確立する。</p> <p>(2) 生徒指導、学習指導を両軸として、校訓の浸透に努め、心豊かな人間の育成を目指す。</p> <p>(3) 普通科文理コース・普通科スポーツ総合専攻・サイエンス科（中高一貫コース）の特色を最大限に生かした教育の推進と特別活動等の一層の充実を図る。</p> <p>(4) 確かな見通しを持って主体的に生き抜き、人類の幸福を志して世界を牽引する人物の育成を目指し、以下の資質能力の伸長を図る。                      ○未来を切り拓く強い意志                      ○科学に立脚した高い知性と思索力（普通科文理コース、サイエンス科）                      ○スポーツ科学に基づく競技力と考察力（普通科スポーツ専攻）                      ○豊かな感性</p>	<p>① 質の高い学力をはぐくむ                      ・中高一貫校、単位制の長所を生かし、各コースの特色に応じた講座編成を行った。                      ・学力検討会議を定期的の実施し、学力の伸長を検証すると共に、課題を明確にして教育活動に活かすよう努めた。                      ・文理コースの総合的な探究の時間について、1年次の新たな教育内容を順調に開始することができた。次年度からのプログラム充実に向けて検討を行った。                      ・サイエンス科の課題研究発表会やスポーツ総合専攻の研究発表会等を実施し、探究活動と成果発表の場を有機的に連動させて、大きな成果を得た。                      ・土曜日の学究的講座、3年土曜セミナーは生徒の主体的・探究的な学びや進路実現につながった。                      ・校時変更は一定の定着をみたが、清掃時間の確保等課題については検討の必要がある。</p> <p>② 豊かな人間性をはぐくむ                      ・外部機関との連携も含め、系統的且つ日常的に人権学習を行った。                      ・学校行事において、生徒の企画を大切にしながら主体性を伸ばす特別活動を実施した。</p> <p>③ 健全なる心身をはぐくむ                      ・日常的に見守ると共に、学校医やスクールカウンセラー等と連携して生徒の心身の健康向上に努めた。</p> <p>④ SSH事業の充実                      ・先導改革Ⅱ期の研究開発を着実に進め、生徒の学びの充実、研究成果の普及を実践することができた。</p> <p>⑤ 学校の教育力の向上                      ・学校の取組を学校説明会やホームページで積極的に発信し、一定の成果があった。広報のあり方について検討を継続していく必要がある。                      ・教育活動においてICT機器・教育アプリの積極的な活用を進めることができた。情報リテラシー教育については継続して行っていくことが大切である。                      ・保護者アンケート・生徒の授業アンケートを実施し、課題の共有と改善を図った。施設等の改善は京都府教育委員会と連携して継続して取り組む。</p>	<p>① 質の高い学力をはぐくむ                      ・質の高い授業を実践すると共に、自己研鑽と意見交流等によってさらなる授業力向上を目指す。                      ・基本的な知識や技能についての系統的な習得の上に、科学的に考察・探究し、表現する能力や態度の伸長を図る。また「主体的・対話的で深い学び」を意識して授業改善を図る。                      ・中高一貫校、単位制の長所を生かし、各コースの特色に応じた講座編成の工夫等を図り、一人一人の希望進路の実現を目指す。                      ・カリキュラムポリシーに示す能力や態度の育成を図る。                      ・文理コースの総合的な探究の時間について、1年次の学習内容の深化と2年次の課題研究のスムーズな実施を図り、プログラムを構築する。                      ・土曜日の学究的講座の深化と生徒の主体的な参加の推進、3年土曜セミナー・長期休業中の学習活動などの内容を精査し、豊かな実践を行う。</p> <p>② 豊かな人間性をはぐくむ                      ・人権学習をさらに充実させるとともに、日常的な学校教育全体を通じて、自他の尊厳を重んじ人権感覚豊かな教育環境を構築する。                      ・連携機関や外部人材の協力による様々な体験を通じて多様な価値観に触れ、グローバルな感覚やチャレンジ精神を身につける機会を提供する。                      ・生徒が主体的に人間的成長を遂げる機会・行為を大切にするとともに、教育的意義に富む学校行事等の特別活動の充実を図る。</p> <p>③ 健全なる心身をはぐくむ                      ・基本的な生活習慣を身につけた心身ともに健康な生徒の育成を目指す。                      ・学校における健康安全教育の充実を図り、学校環境の整備と安全を確保する。</p> <p>④ SSH事業の充実                      ・先導改革Ⅱ期の研究開発を着実に進め、生徒の学びの充実につなげると共に、研究成果を広く伝えることに努める。自走の視点からの検証。</p> <p>⑤ 学校の教育力の向上                      ・開かれた学校づくりを進め、学校の取組を学校説明会やホームページで積極的に発信する。新選抜制度の内容の周知を図る。                      ・コンプライアンス意識の向上を図り、地域社会や家庭から信頼される教育活動の推進を図る。                      ・電子黒板教室設置に向けて効果的な活用方法の研究を行うとともに、生徒の情報リテラシーの向上を促す。</p>